

## 鹿児島県立錦江湾高等学校（管理機関：鹿児島県教育委員会）【3期3年目】の中間評価結果について

### 1 中間評価の結果

優れた取組状況であり、研究開発のねらいの達成が見込まれ、更なる発展が期待される。

### 2 中間評価における主な講評

#### ① 研究計画の進捗と管理体制、成果の分析に関する評価

【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容が十分達成されている】

- ・校長のリーダーシップの下、教員の働き方改革の観点にも留意しながら校務の無駄を省き、SSH部の9つの係で全職員が業務を機能的に分担する体制を構築している。毎週時間割の中に設定されている企画会とSSH担当者会で、組織的に事業の企画や進捗管理、成果分析及び改善に取り組んでおり、評価できる。
- ・現状はアンケートを中心とした評価方法となっているが、生徒や教員の変容等の分析をより客観的に行うための工夫が望まれる。また、ルーブリックを用いた評価の結果についてもまとめていくことが期待される。

#### ② 教育内容等に関する評価

【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容が十分達成されている】

- ・理数科及び普通科において、課題研究を3年間系統的に位置付け、理数系教育に重点を置いた教科・科目編成となっており評価できる。
- ・課題研究と各教科との連携を図るためのリテラシー講座の実施や、理科・数学以外の授業においても探究的な学びを取り入れるなど、授業改善に積極的に取り組んでおり評価できる。

#### ③ 指導体制等に関する評価

【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容が十分達成されており、特に程度が高い】

- ・ファシリテーターを複数配置したり、課題研究の際の生徒のグループ編成を工夫したりするなど、全校体制の課題研究がスムーズに進むよう考えられた指導体制となっており、大変評価できる。
- ・全職員で課題研究の指導のノウハウを共有するため、職員研修や先進校視察等に積極的に取り組んでおり、大変評価できる。

#### ④ 外部連携・国際性・部活動等の取組に関する評価

【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容が十分達成されている】

- ・ 大学や研究機関、企業と連携し、先進的な理数系教育に取り組んでおり、評価できる。
- ・ 県内のSSH指定校4校と連絡協議会を設置して連携を深めるとともに、県外SSH指定校や県内他校も含めた課題研究発表会を企画する等、地域や他のSSH指定校等と連携した取組を積極的に行っており、評価できる。

⑤ 成果の普及等に関する評価

【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容が十分達成されている】

- ・ 教員間の継承を意識した人事配置、生徒の探究活動に関する先輩・後輩の交流を促す等、研究成果の共有・継承について工夫が見られ、評価できる。
- ・ 生徒の変容や学校改革の視点で普及すべき研究成果をまとめた上で、学校ホームページでの情報発信や研究発表等に積極的に取り組んでおり、評価できる。

⑥ 管理機関の取組と管理体制に関する評価

【研究開発のねらいの実現にあたり、評価項目の内容が十分達成されている】

- ・ 指導力の高い教員の配置、理系ALTの配置などの人事上の配慮、大学や総合教育センターへの協力依頼、県内SSH指定校の連携や研究発表会開催等に係る支援などを行っており、評価できる。課題研究や探究的な学習活動のより一層の普及に向け、今後も適切に学校を支援していくことが望まれる。